深谷市にゆかりがあり、

ボーイスカウト深谷第1団に所属する大宮開成高校1年の矢頭悠王さ んと明戸中学校3年の田村旺誠さんが、ボーイスカウト部門(小学校6 年生~中学校3年生まで)の最高位である『菊スカウト章』を受章しま した。菊スカウト章は、初級スカウト章から、2級、1級、菊という順 番で取得できるもので、「日々の活動の積み重ねはもちろん、さまざま な技能や知識が求められ、ボーイスカウトの模範となることが必要で す。」と、13人のスカウトを率いる北川隊長と柳川副長は言います。

受章の感想を矢頭さんに聞くと、「ボーイスカウトとしてずっと頑 張ってきたので、うれしかったです。」と、小学校1年生からスカウト として活動してきた努力が実を結んだことがうかがえます。

ボーイスカウト深谷第1団 (写真左から) 隊長北川哲さん、矢頭悠王さん 田村旺誠さん、副長柳川貴明さん 知識や技能が 人間性を盲む

深谷第1団は、仙元山公園を中心に活動し、長年にわたりスカウトとして活動をしてきた隊長、副長たちが、

自身の経験を生かして、スカウトの面白さを伝えています。

受章した田村さんが感じるスカウトのやりがいは、「ロープ結びや火 のおこし方など、学んだ技能を生活に生かせることです。」と話してく れました。そして、矢頭さんと田村さん共に「キャンプが楽しいです。」 と言い、事前の計画を技能を生かして遂行する面白さや、活動が楽し めるようにプログラムを企画する隊長たちの思いを感じていました。

今後について2人は「これからもスカウトを続けたい。」と、隊長た ちのような指導者への未来も見据えているようでした。スカウトに必 要な誠実さを持つ2人は、これからも模範となる成長を続けます。

※ボーイスカウトは、野外活動を中心としたプログラムを通じて健やかなこどもを育成する世界的な運動です。



▲赤と白の旗を使って言葉を伝える『手旗信号』の 練習をする北川隊長とスカウトの皆さん

ふっかちゃんの日常から

M 国指定重要文化財『ホフマン輪窯 6 号窯

秋風に誘われてあかね通りを散歩していたら、ホフマン輪窯 6号窯が見えてきたよお。ホフマン輪窯6号窯がある旧煉瓦製 造施設には、令和9年度中のオープンを目指して、展示エリア や飲食スペースができるんだよお! 今から楽しみだねえ。







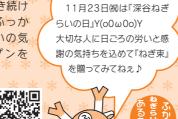
▲れんがを運ぶため、日本初 の専用鉄道が通っていた備 前渠鉄橋から、ホフマン輪窯 ▲歩いているうちに、ホフマン輪窯6号 6号窯の煙突が見えるよお。 窯に到着!なんと、れんがを焼いた窯 ふっかちゃんが居るの、みんの中に飲食スペースができるのは全国 なは分かるかなぁ?

初なんだってえ。



▲近くで見ると大迫 力の煙突!約60年 間れんがを焼き続け たんだから、ふっか ちゃんは、労いの気 持ちでオープンを 待ってるよお。

けているよお。詳しくは、市のホー ムページをチェックしてねえ。



ともに認め合い 支え合う 元気と笑顔で参画するまち ふかや 間人権政策課(₹ 574 - 6643)

11月12日(水)~25日(火)は『女性に対する暴力をなくす運動』期間です

毎年、11月12日から、『女性に対する暴力撤廃の国際デー』である 11月25日までの2週間は『女性に対する暴力をなくす運動』期間で

夫・パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラ スメント、ストーカー行為など、女性に対する暴力は、女性の人権を 著しく侵害するものです。この運動期間をきっかけに、女性に対する 暴力について考え、男女がお互いの意見を尊重し、暴力のない社会づ くりを進めていきましょう。

市では、運動期間に合わせ、市役所本庁舎多目的ホールで、女性に 対する暴力根絶のシンボル『パープルリボン』をツリーに飾るパープ ルリボン運動を開催しますので、お近くにお越しの際は、ぜひ飾り付 けにご参加ください。また、パネル展の開催と、夜は市役所本庁舎の パープルライトアップを行いますので、併せてご覧ください。





川本北小学校4年(現5年) 中川 美海 さん

手助けと優しさ

私がドッチボールをやっていて、つき指をしてしまった 時、お友達が、

「だいじょうぶ。」

と声をかけてくれて、心が温かくなりました。それで私は、

と言いました。その後、保健室に連れて行ってくれて、私は、 「ありがとう。」

と言いました。その時は、とても嬉しくてたまりませんでし た。だから、私は、保健係になって、全校でけがをした人 がいたら、保健室に連れて行っています。休み時間に、 ボールが肩にあたって泣いていた子が居て、だれも保 健室へ連れて行こうとしていなかったので、私が連れて 行こうと決めました。その時は、泣いていたけれど、手あ てが終わった後、

「ありがとう。」

と言ってくれました。

私は、けがをした人を、見て見ぬふりをするのがい やです。前に、お父さんから、「自分がされていやなこと は、人にしない。」と言われたことがあります。でも、実さ いに妹にやられていやなことをしてしまったことがあり ます。その日の夜、寝る前に「やっぱりやらなきゃよかっ たなぁ。」と思いました。その時、お父さんに「見て見ぬ ふりは、よくないし、いやなことをしたらいつか、自分に かえってくる。」と言われました。自分がいやなことを妹 にしたことが、ばちとして妹からもいやなことがかえって きました。

この経験から、いやなことをしてはだめなんだと、学び ました。自分もいやだし、周りの人もいやな気持ちになり ます。見て見ぬふりをしてしまうと、先生も心配になるし、 友達も心配になるし、自分のモヤモヤも心の中に広がっ て後悔する時もあります。だから、後悔しないように、初 めから、困っている人を助けたり、相談に乗ったり、手助 けをしたいです。そうすれば、相手が良い気持ちになっ て、自分も良い気持ちになります。どんどん優しさがつな がって、周りも自分も、幸せになると思います。今後、手 助けをする親切な人になりたいです。

4ホフマン輪窯6号窯内





